

No. 3084

2024-2025年度

会 長 中村 吉伸
幹 事 菅原 佳典
クラブ広報小委員長 川口健太郎



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和6年8月8日 第3085回

- ・外部卓話：「血液事業の現状と課題」
井上 元氏 (和歌山県赤十字血液センター所長)
- ・ソング：「それでこそロータリー」四つのテスト唱和

前回の報告 (第3084回例会)

開催日 令和6年8月1日(木)

点 鐘 [中村会長]

ゲストの紹介

[親睦活動小委員会 嶋田委員長]

ゲスト:宮本 朋子 様(有田市社会福祉協議会)

今月の誕生祝

[親睦活動小委員会 嶋田委員長]

配偶者誕生:佐原敏子さん(8/3)、井上恵実さん(8/8)

ニコニコ箱の報告 [井上SAA]

中村君:有田市社会福祉協議会 宮本様、ようこそ有田RCへ。卓話よろしくお願ひ致します。コロナが急増しています。熱中症と共にお気をつけ下さい。

菅原君:宮本朋子様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。私事ですが、末娘が本日入籍致しました。

石垣(洋)君:宮本先生、本日の卓話楽しみにしています。

岩橋君:宮本朋子先生、卓話よろしくお願ひ致します。

上野山(捷)君:宮本朋子様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

橋爪(正)君:宮本様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

松村君:念のため、OS-1を買いました。

上野山(栄)君:木本エレクトには日曜日のクラブ活性化ラーニングへのご参加ありがとうございました。宮本様、卓話で勉強させていただきます。

中元君:児嶋正人さん、橋爪誠治さん、先日は大変お世話になりました。ありがとうございました。あれ以来、気分いい日が続いています。

橋爪(誠)君:宮本朋子様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

2024-2025年度クラブ方針

「みんなの力を結集し、
未来に繋がる活動を」



次回のお知らせ

令和6年8月22日 第3086回

- ・ガバナー公式訪問
「ガバナーアドレス」
- ・ソング：「我等の生業」

たします。

川口君:宮本朋子様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。勉強させていただきます。

木本君:宮本朋子様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

児嶋君:有田市社会福祉協議会 宮本朋子様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。会長、連勝申し訳ございません。

嶋田君:宮本朋子様、ようこそ有田ロータリークラブへ。卓話よろしくお願ひ致します。仕事の関係で途中退席させていただきます。すみません。

佐原君:宮本朋子様、お話し楽しみです。よろしくお願ひ申し上げます。

福田君:宮本朋子様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

井上君:宮本様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。本日も多額のご献金ありがとうございます。

出席報告

[例会運営小委員会 上野山(栄)委員長]

本日の会員数24名

(出席規定免除会員8名)

出席会員21名

(出席規定免除会員6名)

会長の時間 [中村会長]

今年度外部卓話のトップバッターは有田市福祉協議会の宮本朋子さんです。今年の3月に有田市福祉協議会から「いま向き合っているあなたへ」という冊子が発行されていて、宮本さんは事務局としてこの事業に深く関わっておられます。今や社会問題にもなっている不登校について、子供



や、親御さんへの対応、地域のかかわりなども含めた、総合的な取り組みが書かれていて、大変良い事業だと思いました。是非ご一読いただければと思います。

卓話前の予備知識として「不登校の原因」について少し触れておきます。

不登校には学校に原因がある場合、家庭に原因がある場合、本人自身に原因がある場合などと言われます。学校では友人関係のトラブルが大きな割合を占めていて、高学年になればグループ形成やグループ内の序列などからいじめなどの問題が発生します。一方家庭では親の過干渉、親の子供に対する攻撃性、離婚、再婚などの家庭環境の変化が挙げられます。また本人の問題としては、成績不振や部活動の悩み、成功体験のなさ、他から認められているという自己肯定感が得られないなどが原因とされています。このように不登校といっても様々な原因が根本にあるため、対応も多岐に渡ります。今日のお話をお聞きしまして、有田ロータリークラブとして何かお役に立てることがないか、考えて行きたいと思います。

幹事報告 [菅原幹事]

1. 国際ロータリー
 - ・ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) ポリオプラス・ソサエティの案内
 2. 2640地区
 - ・ガバナー月信7月号【配布】
8月以降の月信はホームページにて掲載
 - ・RLIディスカッションリーダー推薦依頼
 3. 第2回定例理事会開催
例会終了後(13:45～) 5階経済クラブにて
- 【回覧】
- ・田辺RC週報
 - ・財団室NEWS 8月号
 - ・2024年8月「会員増強・新クラブ結成推進月間」のリソース
- 【後方 掲示/閲覧物】
- ・各クラブ例会変更
 - ・理事会等議事録
 - ・ポリオプラス・ソサエティ資料
 - ・RLIの概要とRLIファシリテーターの役割 資料



委員会報告

※戦略計画委員会〔木本委員長〕
2024-25年度 クラブ活性化ラーニング出席報告

卓話



社会福祉法人
有田市社会福祉協議会
事務係長
宮本 朋子 様

「当事者の声」に寄りそって

1. 普段の活動から知り得た子どもたちの状況

有田市社会福祉協議会(以下、「本会」という)では、2013年度から学校を核とした福祉教育をとおして、子どもたちと地域をつなぐ福祉教育を実践してきた。その活動を通して、市内小中高校との連携は強化され、社協は学校と地域をつなぐコーディネーターとして認知されつつある。

そんな活動も 2020年のコロナ禍により、一時停滞したものの、オンラインの活用など工夫をして、現在はさまざまな教育課程で協同実践を行っている。経年に及ぶ活動により、授業をとおして知り合った子どもたちも成長しているが、コロナ禍以降、授業での空席の増加が気になるところとなっていた。

一方で、本会は地域福祉実践でも居場所づくりやボランティア活動の推進で保護者世代と出会う機会も多く、その中で、不登校が増えている、我が子が不登校になったという相談を受けることも増えていた。

2. 時代の課題ともいえる不登校の当事者

コロナ禍では欠席がしやすくなったという特殊な状況もあったが、人とのつながりを絶つような新しい生活様式による弊害もあったと考える。我が子が不登校になっているという苦しみと向き合うのは保護者や家族であり、それを外に出せる機会は有田市にはなかった。本会とつながっていた当事者は同じ思いの人たちがつながる機会を求めており、それは公的機関でもできないかと考え、少人数であっても必要とされる場をつくることを決めた。

2021年1月から奇数月に1度の割合で、「学校にいけない・いかなない子をもつ親同士がつながる場」を継続開催している。参加者らは毎回誰かが涙を流して話をし、全員がその思いを受け止め、自分たちの経験を語り合っている。開始から3年が経ち、保護者の変化と共に子どもたちにも変化が表れている。そうして救われた保護者たちが、自分たちも同じ立場の方のために何かしたいと、『いま向きあっているあなたへ』という冊子を発行した。

3. 求められる子どもたちの多様な居場所

同時に、救われた保護者は子どもたちにも居場所があればと願い、本会は大学生と共にその運営を行っている。多様な生き方の選択肢は、田舎であっても必要であると考え、試行錯誤しながら取り組んでいる。

閉会・点鐘 [中村会長]

例会風景

